ガ雄花ノ數ヲ增スコトデアル。

何レニシテモ雄花ノ最大數ハ 35 個位デアツタ。又雄花ガ着生スル部分ノ長サハ最大ガ 4 cm 位デ少クモ 2 cm 以上ハアル。又毬果ノ所謂花梗ノ部分ハ正常ノ物ガ 1 cm 位ナノニ對シテ、最大ガ 5 cm 餘モアリ最小ノモノデモ 2 cm アツタ。此ノ花梗ノ長サモ一枝ニ着生スル場所ノ上下ニ依ツテ差異ヲ生ジ、下ノモノ程長カツタ。

此所ニ又面白イモノハ此ノ花梗ノ部分ニモ雄花ヲ着生シテ居ル事デアル。但シ雄花ハ多クハ花梗ノ短イモノニ着生シテヰタ。ソノ雄花ノ數ハ前者ニ較ベテ遙ニ少ク、5～6 個ニスギナカツタ。然シテ此ノ雄花ヲ毬果ノ上下ニ着ケテヰルヨウナモノハ稀デ、多クハ毬果ノ上部ニ着生シテヰタモノデアル。

今此等ノ雄花•雌花ヲ見ルニ、何等形態的ニ大サ•形狀ハ正常ノモノト變ツテハヰナカツタノデアル。余ハ之ニヨツテ杉ノ祖先返リダト考ヘ、松柏科植物ノ毬果ハ一ツノ花序タル事ヲ明ニ示スモノデナイカト思フ。 (岩田重夫)

○苦竹ノ花咲ク

まだけ (*Phyllostachys reticulata* KOCH.) ノ花ノ咲ク週期ニ達シタモノカ橫濱ノ德永家次氏ハ本年十月十四日相州山口村ニ於テ其盛ンニ開花セルニ會ヒ之ヲ採集サレタ。恐ラク自今各地ヨリ同樣ノ報告ニ接スルデアラウガ、取敢エズ報ジテ置ク。 (久内淸孝)

○みづきんばいノ產地

みづきんばい (*Jussiaea repens* L.) ガ武州金澤ノ水田ニアルトハ誰モ氣ガツカナカツタト思フガ、其レガ慥ニアル事ガ中村正秋氏ノ採集品ニヨリ證明サレタ。 (久内淸孝)

○かやつりぐさノ產地

かやつりぐさ (*Carex cyperoides* L.) ハ東大理學部植物學教室所藏ノ標本ニヨレバ、內地ニ於ケル最初ノ發見ハ 1924 年 8 月 6 日甲州河口湖ニ於ケル故早田文藏博士ノ採集デアツテ、其後今迄本州デ知ラレテ居ナカツタガ九里聰雄氏ハ甲州精進湖デ、奥山春季・檜山庫三氏ハ同ジク河口湖デ得ラレタ。コレデ本種モ本州ノ「フローラ」ニ入ツタ事ニナル。

余モ本年ノ秋河口湖畔デ之ヲ得タ。之ニヨリ此植物ハ秋迄其生活ヲ持續スルノミナラズ、花穗ノ發育ヲ繼續シツヽアルコトヲ今更ノ如ク知ツタ。尙全體ノ

形狀ガじようろうすげニ似テ居ル處カラ一般ニ夫レト混同サレ、其縮小シタモノ位デアツサリ片付ケラレテ居タノモ今頃迄之ガ本州ニ產スル事ガ判ラナカツタタメデアラウ。此ノ事實ニ始メテ氣ヲ付ケタノハ余ノ知ツテ居ル限リ奧山春季氏デアル。 (久內清孝)

○おんないやがらトハ何ゾヤ

此ノ方言ニヨリ表現サレル植物ノ本體ニ就テハ筆者ハ寡聞ニシテ困ツテ居タ所、本年夏在金澤藥學博士塚本赳夫氏ニヨリ明瞭ニサレタ。卽チ北陸地方ニ於ケルたうこぎ (*Bidens tripartita* L.) ノ地方名デアル。塚本氏ニヨレバ金澤市デハたうこぎノ全草ヲ乾シテ四寸位ニ折リ曲ゲ之ヲ葉ニテ粗ククヽリタルモノヲ共名稱デ藥店デ賣ツテ居ル由、現ニ塚本氏ハ同市綿谷藥局他カ一個所デ購入サレタモノヲ余ニ贈ラレタ。 (久內清孝)

○本田正次博士ノ室

禾本科植物專門家トシテオ馴染ノ本田氏ノ大學ノ室ハ元ノ早田博士ノ室デアルガ、古イ室デ窓掛ガ無イノデ夏ニハびんぼうかづらトへくそかづらヲ窓一面ニ繁殖サセテ居ルガ、之又相當ナ日除ケデアル。此室ニ同居シテ居ラレルノガ男爵佐竹義輔學士デアル。 (久內清孝)